

## 令和7年8月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年8月25日(月)  
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市20周年記念事業「子ども力を伸ばす大人の力」講演会・座談会が開催されます(資料1)
- 2 渋川市20周年記念事業「令和8年渋川市はたちを祝う会」への協賛を募集します(資料2)
- 3 渋川市20周年記念事業「育てよう!縄文の森プロジェクト」の参加者を募集します(資料3)
- 4 渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園のネーミングライツパートナーを募集します(資料4)

### その他資料提供

- ・認知症月間における普及啓発事業「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を実施します(資料5)
- ・お盆期間中の伊香保温泉宿泊者数の状況をお知らせします(資料6)
- ・お盆期間中の市有温泉施設の入館者状況等をお知らせします(資料7)
- ・お盆期間中の渋川スカイランドパーク遊園地の入園者状況をお知らせします(資料8)
- ・しぶかわ推し第1弾(料理・菓子)で新たに4品が認定されました(資料9)

### ○次回開催予定

日時：令和7年9月1日(月) 午後1時  
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月25日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
8月26日(火)				
8月27日(水)				
8月28日(木)				
8月29日(金)				
8月30日(土)	17:00 17:30	渋川市小中学校PTA連絡協議会 PTA大会・懇親会 石原西自治会まつり	プレヴェール渋川 石原西住民センター	生涯学習課 市民協働推進課
8月31日(日)				
9月1日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:00	当選証書付与式	市役所本庁舎	総務課
	14:30	第30回夢二忌俳句大会・第28回夢二俳句大賞表彰式	ホテル天坊	観光課

## 渋川市20周年記念事業

# 「子どもの力を伸ばす大人の力」講演会・座談会が 開催されます

現代社会において必要とされている子どもの「非認知能力」を伸ばすため、地域全体で子どもを育むための「大人力」を養うことを目的とした講演会・座談会が、令和7年10月25日(土)に渋川公民館で開催されます。

この事業は、子育てしやすいまちの実現を目指すという観点において、渋川市が取り組んでいるまちづくりの方針と合致することから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の対象事業として市が採択し、実施されるものです。

### 1 概 要

現代社会において必要とされている子どもの「非認知能力(※)」を伸ばすため、地域全体で子どもを育む「大人力」を養うことなどを目的とした講演会・座談会が、市内で大人と中高生との地域コミュニティを運営する団体「hub (ハブ)」の主催により開催されます。

この事業は、子どもの教育や成長に対する多様な視点や実践例を学ぶことで、子育てしやすいまちの実現を目指すことを目的としており、「安心して子育てができる環境」を目指す渋川市の取り組みに合致することから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の対象事業として市が採択し、実施されるものです。

#### ※非認知能力とは

非認知能力は、「認知能力(学力や知能)」とは対照的に、数値化が難しい内面的な能力全般を指します。主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの要素(①自分の目標に向けて粘り強く取り組む、②そのためにやり方を調整し工夫する、③友達と目標に向けて協力し合う)からなり、人生を豊かに生きるために重要な力とされています。

2 日 時 令和7年10月25日(土) 午後1時30分～4時

3 会 場 渋川公民館・講堂(渋川市石原6-1)

### 4 内 容

#### (1) 講演会

子どもの主体的な学びを実践するオルタナティブスクール「ヒロック」創設者の養手章吾(みのて しょうご)氏の講演により、子どもの個性を輝かせるための具体的な教育実践例を学びます。

#### (2) 座談会

特別支援学校教諭による子どもの特性や多様性に関する専門知識、hubの地域コミュニティ運営の経験、養手氏のオルタナティブ教育の知見を組み合わせた座談会により、地域全体で子どもを育む「大人力」について掘り下げます。

## 5 講 師

### (1) 講演会

- ・ヒロック創設者 蓑手 章吾 氏

### (2) 座談会

- ・ヒロック創設者 蓑手 章吾 氏
- ・公立特別支援学校教諭・公認心理師  
後藤 範雄 (ごとう のりお) 氏
- ・h u b 代表 綿貫 慈 (わたぬき めぐみ) 氏

6 定 員 70人 (先着順)

7 対 象 子育てに興味・関心がある人

8 入 場 料 無料

## 9 参加方法

専用の申込みフォーム (右の2次元コード) から必要事項を入力して申し込んでください。



10 申込期限 令和7年10月19日(日)

## 11 記者会見出席者

h u b 代表 綿貫 慈 (わたぬき めぐみ) さん

## 参考

### 1 「h u b」について

子どもたちが自らの力で成長していくことを支援する「第3の居場所」として、渋川公民館を拠点に、大人と中高生との地域コミュニティを運営する団体です。

公民館等の調理実習室で自分たちで夕飯を作って食べたり、おしゃべりやカードゲーム、勉強をしたりと、各自思い思いに過ごせる場所を提供しています。

### 2 「オルタナティブスクール」とは

公立でも私立でもない「もう一つの学校」という意味で使われ、公教育とは異なり、子どもの自主性に基づいた教育が行われています。

フリースクールが不登校や引きこもりになった子どもの受け皿となる場合が多い一方で、オルタナティブスクールは公教育とは違う教育方針や運営体制に共感した家庭が選択するという点に特色があります。

インターナショナルスクールなどと同様、一条校 (義務教育課程) ではありません。

### 3 「ヒロック」について

令和4年4月に東京都世田谷区にオルタナティブスクールとして開校。「ワイルド&アカデミック」な環境で、子どもが主役となって「育ち」や「学び」を主体的に勝ち取る福利（ウェルビーイング）を広げていく学校としています。

小学1～4年生を対象とする初等部、小学5～中学3年生を対象とする中等部があり、世田谷、代々木、吉祥寺の初等部3校と中等部1校の計4校で運営されています。

### 4 令和7年度「しぶかわ未来共創推進事業補助金」採択事業

	事業名称	開催日	開催場所	主催者
1	心と身体を整える バランスボールセミナー	令和7年 6月21日	渋川市民会館	まるっと渋川盛り 上げ隊実行委員会

#### ■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）



# 子どもの力を伸ばす大人のカ 講演会&座談会



渋川市20周年

「子育てしやすいまち渋川」の実現に向け、保護者だけでなく、地域全体で子どもを育む「大人力」を高めるための気づきや具体的な方策を共有します。

座談会 14:45~16:00

養手 章吾 HILLOCK初等中等部

後藤 範雄 公立特別支援学校  
教諭・公認心理師

綿貫 慈 大人と中高生のコミ  
ュニティhub代表



講演会 13:30~14:30

講師 養手 章吾

市内に4校展開するオルタナティブスクール  
HILLOCK初等中等部を運営。東京学芸大学の非常  
勤講師（「教育の情報化基礎」の授業を担当）、経済  
産業省「未来の教室」メンター、文部科学省学校  
DX戦略アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委  
員も勤める。現在は教育コンサルタントとして、  
様々な民間企業アンバサダーや小学校研究会講師、  
執筆活動などを行っている。

日時

**10月25日** 土  
13:30-16:00 受付13:00

先着順 70名限定  
申込〆切：10/19(日)

会場

渋川公民館 講堂  
渋川市石原6番地1



## 資料2

# 渋川市20周年記念事業「令和8年渋川市はたちを祝う会」への協賛を募集します

今年度20歳になる人を祝い、励ますとともに、自立した大人として地域社会の一員であることを自覚し、渋川市への愛着を深めてもらうことを目的として、令和8年1月11日(日)に「令和8年渋川市はたちを祝う会」を開催します。

今回、新たな試みとして、はたちを祝う会への協賛を募集するほか、当日の受付及びプログラムなどの配布物のデジタル化に取り組みます。

### 1 はたちを祝う会開催概要

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられましたが、渋川市では、引き続き、当該年度に20歳になる「新はたち」の人を対象として、「渋川市はたちを祝う会」を開催しています。

この事業は、公募及び市内中学校からの学校推薦により、当該年度に20歳になる人から選任された「はたちを祝う会運営委員会」が、企画・運営を行います。今年は、18人の運営委員で組織し、はたちを祝う会のテーマ、式典以外の企画内容、ポスターの作成、プログラムの構成、はたちのことばの作成、記念品の協議などを行っています。

- (1) 日 時 令和8年1月11日(日) 午後1時～3時30分
- (2) 会 場 渋川市民会館(渋川市渋川2795)
- (3) 対 象 者 平成17年4月2日～平成18年4月1日の間に生まれた人  
計644人(令和7年6月1日現在)
- (4) 内 容
  - ①式典
  - ②はたちを祝う会運営委員による企画
  - ③記念写真撮影

### 2 はたちを祝う会協賛募集

はたちを祝う会参加者が地域から応援されているという気持ちを醸成し、地域貢献の心を育むきっかけづくりを行うため、協賛を募集します。

協賛を通じて、渋川市の未来を担う若者に、ふるさとに根ざしている企業その他団体の存在を知ってもらう機会につなげます。

- (1) 協賛募集対象者
  - ①渋川市内の企業その他団体
  - ②渋川市外に拠点がある渋川市の新はたちを応援したい企業その他団体
- (2) 協賛内容  
はたちを祝う会への協賛品の提供(提供数は1点から可)  
(例)食事券、宿泊券、物産品など
- (3) 協賛品の活用方法  
協賛品の活用方法については、はたちを祝う会における企画内で使用するなど、渋川市はたちを祝う会運営委員会が決定します。配布する対象者や用途の指定は受けられません。

#### (4) 協賛特典

- ①市ホームページに、企業その他団体名及びメッセージを掲載
- ②はたちを祝う会会場内に、企業その他団体名を掲示

#### (5) 協賛の申込方法

申込希望者は、協賛申込書（市ホームページ及び生涯学習課にあります）と協賛品の写真データ（3MB以内）を、メール（seishonen@city.shibukawa.gunma.jp）または持参で渋川市はたちを祝う会運営委員会事務局（渋川市教育委員会生涯学習課内）へ提出してください。

※持参の場合は、写真の代わりに協賛品現物を提出いただいても構いません

※持参の場合は、平日の午前8時30分～午後5時15分にお持ちください

#### (6) 申込期間 令和7年9月1日(月)～10月15日(水)

#### (7) 周知方法

「広報しぶかわ」9月号及び市ホームページに掲載するほか、市公式SNSで発信します。

#### (8) スケジュール

- ・10月15日 協賛品募集締切
- ・11月下旬 運営委員会が協賛の受入れについての可否を決定し、申込者に交付  
選考結果通知を送付
- ・12月22日 協賛品提供締切
- ・1月11日 はたちを祝う会当日における協賛特典の実施

### 3 はたちを祝う会受付及び配布物のデジタル化

はたちを祝う会当日の受付にかかる参加者の待機時間や手荷物となる配布物を解消するため、市公式LINEを活用します。

また、参加者に市公式LINEを使用してもらうことで、はたちを祝う会以降においても渋川市とつながるきっかけとします。

#### (1) 受付及び配布物のデジタル化の手順

##### ①案内状の送付

渋川市は、はたちを祝う会の案内状に、渋川市公式LINEアカウントに登録するための二次元コードを掲載して対象者に送付します。

##### ②事前登録

はたちを祝う会の参加希望者は、案内状の二次元コードを読み込み、事前登録をします。

##### ③当日受付

はたちを祝う会当日、参加者が受付に用意された二次元コードを自分のスマホで読み込むことで、受付が完了します。

#### (2) 配布物のデジタル化

受付完了した参加者は、市公式LINEに掲載した配布物（式典プログラム、新はたちへの啓発資料等）情報を、LINEメニューから取得します。



### (3) デジタル化の効果

#### 【参加者側】

- ・受付の待機時間が短縮される
- ・手荷物となる配布物（封筒）を手に持たなくてよくなる

#### 【運営側】

- ・受付が簡易化される
- ・全体の参加人数や記念写真撮影希望地区毎の人数等が即時に集計可能となる
- ・事前登録した人に対し、情報配信が可能となる

#### 【その他（市職員の事務効率化等）】

- ・配布物（10所属程度）の印刷及び封筒印刷のコスト削減（約700人分）
- ・配布物の封筒封入及び会場への運搬、当日配布作業の削減（コンテナ7個分）
- ・当日職員体制の減員化（受付現在7人→3～4人）

※今年度は試験的に実施し、本格的な運用は来年度以降を予定しています

## 4 記者会見出席者

令和8年はたちを祝う会運営委員会

委員長 萩原 心輝（はぎわら こうき）さん（北橋中学校出身）

## 参考

### 過去の渋川市はたちを祝う会（成人式）の実績

- ・令和3年：対象者数808人/参加者数569人（参加率70.4%）市民会館・2部制
- ・令和4年：対象者数749人/参加者数607人（参加率81.0%）市民会館・2部制
- ・令和5年：対象者数644人/参加者数493人（参加率76.6%）市民会館・2部制
- ・令和6年：対象者数710人/参加者数549人（参加率77.3%）市民会館・1部制
- ・令和7年：対象者数702人/参加者数554人（参加率78.9%）市民会館・1部制

#### ■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

青少年係長 狩野 美菜子（内線4952）

# 渋川市ではたちを迎えるわたしたちを 応援していただだけませんか？

## 令和8年渋川市はたちを祝う会では 協賛品を提供していただける企業・団体を募集します！



わたしたち

はたちを祝う会運営委員会は、  
仲間たちが晴れやかに式を迎えられるよう  
準備を進めています。  
毎日それぞれの環境で頑張っている中で、  
この日は気の知れた仲間たちと楽しみ、  
渋川の良さを再確認、  
そして新発見するために  
ぜひお力添えください！

令和8年渋川市はたちを祝う会  
運営委員会 一同

### 協賛企業・団体の特典とメリット

#### ～特典～

- 渋川市のホームページに、協賛企業・団体名と、  
いただいたお祝いメッセージを掲載し、広く紹介します！
- はたちを祝う会当日、会場内に協賛企業・団体名を掲示し、参加者へ周知します！

#### ～期待するメリット～

- ☆若い世代やその保護者世代へ協賛企業・団体をPRでき、  
新規顧客の開拓につながります！
- ☆地域貢献による協賛企業・団体のイメージの向上につながります！
- ☆若い世代が協賛企業・団体へ興味を持つきっかけをつくり、就業につながります！

詳細は裏面をご確認ください

#### 令和8年渋川市はたちを祝う会 概要

- 開催日 令和8年1月11日（日）
- 開催場所 渋川市民会館
- 開催時間 午後1時～
- 対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人

# 渋川市はたちを祝う会協賛品の募集について

## 趣 旨

渋川市はたちを祝う会参加者が、地域から応援されているという気持ちを醸成し、地域貢献の心を育むきっかけづくりをおこなうため、協賛を募集します。

また、協賛を通じて、渋川市の未来を担う若者に、ふるさとに根ざしている企業その他団体の存在を知ってもらおう機会につなげます。

## 募集対象

渋川市ではたちを迎えるわたしたちを応援していただける企業その他団体（市内・市外は問いません）

## 募集内容

食事券、宿泊券、物産品など、1点から受け付けます。

※はたちを祝う会当日時点で20歳に到達していない参加者もいるため、酒類・タバコ類はご遠慮させていただきます。

また、活用方法はこちらで決定させていただくため、御指定は受けられません。御了承ください。

## 申込方法

次のいずれかの方法で申し込んでください。

(1) メール

協賛申込書及び協賛品の写真データ等（3MB以内）を下記事務局メールアドレスに送付してください。

(2) 持参

協賛申込書と併せて、協賛品現物もしくは写真等を事務局に持参してください。

※持参の場合は平日（8時30分～17時15分）にお持ちください。

## 申込期限

令和7年10月15日（水）

## 決定・納品

お申し込みいただいた協賛品について、はたちを祝う会運営委員会で受入れ可否を決定し、11月下旬頃決定通知書を送付いたします。

受入れ可とさせていただいた場合、令和7年12月22日（月）までに納品ください。

## 協賛特典

- 渋川市のホームページに、企業その他団体名及びお祝いメッセージを掲載します
- はたちを祝う会会場内に、企業その他団体名を掲示します

募集要項、申込書はこちらからダウンロードできます↓↓

## 申込み・お問合せ先

渋川市はたちを祝う会運営委員会事務局

（渋川市教育委員会生涯学習課内（渋川市役所第二庁舎））

電話：0279-22-2500 メール：seishonen@city.shibukawa.gunma.jp

住所：（郵送）〒377-8501 渋川市石原 80 （持込み）〒377-0007 渋川市石原 6-1





## 渋川市20周年記念事業

## 「育てよう！縄文の森プロジェクト」の参加者を募集します

渋川市は、史跡瀧沢石器時代遺跡の保存整備事業の一環として、市民とともに縄文時代の植生環境を復元する「育てよう！縄文の森プロジェクト」を実施します。親子・市民協働・市民参加の3区分で参加者を募集し、種実の採集から育苗、植樹までを体験し、期間中は縄文時代の講座や植物利用体験も行います。

この事業は、(株)クレディセゾンとの包括連携協定に基づき、赤城自然園の協力のもと実施します。

## 1 概要

渋川市は、史跡瀧沢石器時代遺跡の保存整備事業に伴い、縄文時代の植生環境を市民とともに復元する「育てよう！縄文の森プロジェクト」の参加者を募集します。

このプロジェクトは、渋川地域に自生する植物から種実を採取し、市民の手で苗木を育てて史跡に植樹する「植樹プログラム」と、縄文時代に関する講座や、どんぐり等の森の恵みを活用する体験型の「体験活用プログラム」で構成されています。親子・市民協働・市民参加の3区分で参加者を募集し、参加者にはプログラムごとに設定した取り組みに参画してもらいます。

参加者が育成した苗木の植樹を通じて縄文時代の植生環境を再現するとともに、講座や体験を通じて史跡瀧沢石器時代遺跡や縄文時代、地域の歴史・文化への理解を深め、未来へ縄文の森を引き継ぎます。

## 2 募集区分と参画内容等

## (1) 親子参加型

- ・対象：小中学生とその保護者
- ・募集：20組
- ・内容：全8種の堅果類（どんぐり等）の採集から植え付け、育苗までを親子で体験します。どんぐりの採集は赤城自然園で行い、自宅で育成して、苗木の成長を家族で見守ります。  
期間中は、縄文時代に関する講座や、植物利用を学べる体験活用プログラムに参加できます。

## (2) 市民協働型

- ・対象：高校生以上
- ・募集：10人
- ・内容：全32種の種実を採集・植え付け・育苗を行います。植物の探索から苗畑への植え替えまで、市職員と協働で実施します。  
期間中は、縄文時代に関する講座や、植物利用を学べる体験活用プログラムに参加できます。

## (3) 市民参加型

- ・対象：どなたでも
- ・募集：50人
- ・内容：市が配布するどんぐりを自宅で育ててもらいます。  
期間中は、植物利用を学べる体験活用プログラムに参加できます。

※全区分とも、育成した苗木は史跡瀧沢石器時代遺跡に植樹します

### 3 体験活用プログラムの例

- ①「どんぐりを食べてみよう」
- ②「どんぐりで染めてみよう」
- ③「縄文時代の道具でどんぐりを加工してみよう」

※その他、縄文時代に関する各種体験事業や講座を企画しています

### 4 プロジェクト期間 令和7年10月～令和9年6月頃

※どんぐりから苗木を育成するため、長期間にわたります

### 5 申込方法

文化財保護課への電話（0279-52-2102）か、LoGoフォーム（<https://logoform.jp/form/6c9p/1171009>）で申し込みください。

※電話の受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

※申込多数の場合は抽選となります

LoGoフォームはこちらから▶



### 6 申込期間 令和7年9月8日(月)～9月19日(金)

### 7 周知方法

「広報しぶかわ」及び市ホームページに掲載します。

### 8 その他

このプロジェクトは、(株)クレディセゾンとの包括連携協定に基づき、教育及び生涯学習の充実を目的に、赤城自然園の協力のもと実施します。

## 参考

### 1 史跡瀧沢石器時代遺跡

史跡瀧沢石器時代遺跡は、大正15年に発掘調査が行われ、昭和2年に国指定史跡となった縄文時代の遺跡で、指定面積は43,367.14㎡です。指定後およそ70年間は農地として利用され、地域の人々によって守られてきました。平成5年、周辺での農村活性化住環境整備事業の計画を契機に保存整備計画の検討が始まり、平成8年度に「史跡瀧沢石器時代遺跡保存整備委員会」を設置。平成9年度から令和2年度にかけ、複数回の発掘調査が行われました。

これらの調査では、縄文時代早期から晩期にかけての多量の遺物が出土し、長期間にわたり生活の場として利用されていたことが判明しました。特に後期後葉から晩期中葉にかけての配石墓や配石遺構が多数確認され、当時の人々の精神性を示す祭祀の場として高く評価されています。

### 2 赤城自然園

赤城自然園（渋川市赤城町南赤城山892）は、(株)クレディセゾンが「次世代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐ」ため、平成21年から社会貢献活動の一環として運営し、平成30年4月から通年開園を行っています。

園内には、約500種の四季折々の豊富な山野草が生い茂り、北関東に生息する1,800種を越える昆虫類や鳥類を自然に近い形で見ることができます。

### 3 (株)クレディセゾンとの包括連携協定

渋川市は、(株)クレディセゾンが運営する赤城自然園の理念である「自然と人間の共生」を共有し、教育や生涯学習のさらなる充実と地域社会の発展を目的として、平成31年4月5日に包括連携協定を締結しました。

#### ■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟 (内線 4930)

担当：文化財保護課 (電話0279-52-2102)

課長 太田 国男 (内線 8245)

埋蔵文化財係長 萩原 俊樹 (内線 8245)



## 資料4

# 渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園の ネーミングライツパートナーを募集します

渋川市は、企業などへの広告の機会を拡大するとともに、市の新たな財源を確保することにより、地域経済の活性化及び市民サービスの継続的な実施を図るため、渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園のネーミングライツパートナーを募集します。

### 1 概要

渋川市は、企業などへの広告の機会を拡大するとともに、市の新たな財源を確保することにより、地域経済の活性化及び市民サービスの継続的な実施を目的として、市有施設のネーミングライツを導入しています。今回、令和8年3月末にネーミングライツの契約期間が終了する2施設のネーミングライツパートナーを募集します。

### 2 対象施設

- (1) 渋川市武道館（渋川市中村830-6）
- (2) 渋川市赤城総合運動自然公園（渋川市赤城町北上野444）

3 応募資格 企業、個人の事業者、商店街等の連合体及び公共的団体など

4 募集期間 令和7年9月1日(月)～11月28日(金)

### 5 希望契約期間

令和8年4月1日から3年以上の期間とし、最長で令和13年3月31日までの5年間とします。

6 希望ネーミングライツ料 各施設とも年額60万円（税別）

### 7 表示変更に伴う費用負担

区 分	ネーミングライツパートナー	市
(1) ネーミングライツ料	○	
(2) 敷地内外の看板等の表示変更	○	
(3) 契約期間終了後の原状回復	○	
(4) ホームページの表示変更		○

※区分(4)の内容については、応募施設ごとに異なります

8 応募方法 申請書類をスポーツ課へ郵送又は直接持参

### 9 決定方法

愛称案、契約期間、社会貢献（地域貢献）の取組及びネーミングライツ料から総合的に審査します。

## 10 スケジュール（予定）

- ・令和7年9月1日～11月28日：ネーミングライツパートナー募集
- ・令和8年1月：ネーミングライツパートナーの決定・契約締結
- ・令和8年4月1日：ネーミングライツ導入（愛称使用開始）

## 11 募集の周知

「広報しぶかわ」9月号に掲載するほか、募集要項及び応募申込書などの詳細を市ホームページに掲載します。

また、募集要項及び応募申込書をスポーツ課、各行政センター及びネーミングライツ募集施設に配置します。

## 12 その他

渋川市武道館、渋川市赤城総合運動自然公園は、令和5年1月1日から令和8年3月31日を契約期間としてネーミングライツを導入しています。

## 参考

### 本市におけるネーミングライツ導入施設

施設（愛称）	契約者	契約期間	ネーミングライツ料（年額）
渋川市武道館 （宮田商会武道館渋川）	株式会社 宮田商会	令和5年1月1日 ～令和8年3月31日	60万円 （税別）
渋川市赤城総合運動自然公園 （木暮組スポーツパーク 赤城）	株式会社 木暮組	令和5年1月1日 ～令和8年3月31日	40万円 （税別）
渋川市子持社会体育館 （JESCOアリーナ渋川）	JESCO SUGAYA 株式会社	令和7年1月1日 ～令和12年3月31日	60万円 （税別）
渋川市総合公園陸上競技場 （瑞穂建設スタジアム）	瑞穂建設 株式会社	令和7年4月1日 ～令和12年3月31日	50万円 （税別）

#### ■問い合わせ先

育都推進部 部長 斉藤 章吉（内線1150）

担当：スポーツ課（電話0279-22-2241）

課長 関口 俊也（内線4957）

スポーツ振興係長 荒木 忠（内線4970）

## 認知症月間における普及啓発事業 「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を実施します

認知症は誰もが起こりうる脳の病気であり、認知症について正しく理解し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域で認知症とともに生きるまちづくりを推進することが重要となっています。

渋川市は「認知症とともに生きる地域ふれあい条例」を策定しており、9月の認知症月間に合わせて、認知症の理解を深めるための普及啓発事業として、「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を実施します。

### 1 経 過

渋川市は、令和3年10月に「渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例」を制定し、認知症になっても誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会を推進しています。

「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」は、認知症の理解を深め、正しい知識を得る機会を提供するとともに、認知症施策についての理解を促すため、令和3年度に世界アルツハイマー月間行事として開始しました。その後、令和6年1月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が施行され、9月が認知症月間と定められたことから、令和6年度からは、認知症月間における普及啓発事業として実施しています。

### 2 渋川市役所市民ホールでの実施内容

実施期間は令和7年9月8日(月)～12日(金)。時間は午前9時～午後4時。

#### (1) 「認知症とともに生きる木」の展示

認知症の人やその家族へ向けたメッセージや、認知症の人が安心して暮らすためにどんな街になってほしいかを、来場者が木のモニュメントに貼る参加型の展示を行います。木は、渋川市役所市民ホール以外に次の2箇所に設置します。

※「認知症とともに生きる木」の設置場所と期間

- ・ JR渋川駅＝9月8日(月)～12日(金)
- ・ 渋川市立図書館＝9月8日(月)～24日(水) (休館日を除く)

#### (2) パネル展示

認知症に関すること、認知症の人への接し方、市の事業紹介、「渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例」などをパネルで紹介します。

#### (3) 認知症に関する本の紹介

渋川市立図書館の協力により、「認知症の当事者・家族からのメッセージ」「認知症を理解するための本」「介護の不安・疑問に寄り添う本」「認知症がわかる、絵本と児童書」のジャンルごとに本の紹介をします。

#### (4) もの忘れ相談

認知症に関することや介護のことなど、渋川市中央地域包括支援センターの専門職が、本人や家族からの相談に応じます。

#### (5) 動画上映

県は、認知症の人本人からの発信を通して認知症に関する理解を深めるため、認知症本人大使「ぐんま希望大使」を設置しています。ぐんま希望大使が出演している「認知症とともに生きる～自分らしく、いつもどおり～」 「認知症とともに生きる～認知症になっても生活は変わらない～」の動画を上映します。

(6) パンフレット配布

地域包括支援センターの紹介や市で実施している認知症関連事業のパンフレットなどを配布します。

### 3 オレンジライトアップ

「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言を行った、東京電力パワーグリッド(株)渋川支社と協力して、同支社の社屋鉄塔を、認知症理解普及のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。

実施期間は令和7年9月8日(月)～12日(金)。時間は午後6時30分～8時30分。

### 4 デジタルサイネージ

認知症について関心を持っていただけるようメッセージと相談先の紹介を、渋川市役所本庁舎1階の市民課前のモニターで、9月の1カ月間放映します。

## 参考

### 過年度の実施実績

(1) 令和3年度

- ・実施期間：令和3年9月13日～17日 午前9時～午後5時
- ・内 容：パネル展示、本の紹介、もの忘れ相談、パンフレット配布
- ・来所者数：144人
- ・もの忘れ相談：13人

(2) 令和4年度

- ・実施期間：令和4年9月5日～9日 午前9時～午後4時
- ・内 容：令和3年度実施内容に加え、動画上映、もの忘れチェックを実施
- ・来所者数：141人
- ・もの忘れ相談：12人

(3) 令和5年度

- ・実施期間：令和5年9月4日～8日 午前9時～午後4時
- ・内 容：令和3年度実施内容に加え、動画上映を実施
- ・来所者数：167人
- ・もの忘れ相談：12人

(4) 令和6年度

- ・実施期間：令和6年9月2日～6日 午前9時～午後4時
- ・内 容：令和5年度実施内容に加え、東京電力パワーグリッド(株)渋川支社の社屋鉄塔のライトアップを実施
- ・来所者数：123人
- ・もの忘れ相談：6人

#### ■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎 (内線1200)

担当：高齢者安心課 (電話0279-22-2179)

課長 福島 敬 (内線1224)

地域支援係長 田村 陽子 (内線1238)

## お盆期間中の伊香保温泉宿泊者数の状況をお知らせします

令和7年度のお盆期間中における伊香保温泉宿泊者数等の調査結果をまとめたところ、調査期間（計9日間）における伊香保温泉宿泊施設全体の宿泊者数は、3万8,283人でした。

### 1 結 果

令和7年度の調査期間（計9日間）における宿泊者数の合計は、3万8,283人でした。

前年度（令和6年度）及び前々年度（令和5年度）との比較が可能な同日数（8月11日～16日の6日間）で比較した結果、令和7年度が2万5,787人のところ、前年度比は2万7,687人で1,900人の減少（93.1%）となりました。また、前々年度比は2万4,986人で801人の増加（103.2%）となりました。

前年度同日数比較の減少は、様々な要因が複合的に影響していると考えられますが、主に物価高騰による節約志向が強まったことによるものと考えられます。また、お盆休み終盤の石段街は大変混雑していたことから、日帰りで伊香保観光を楽しむ人が多かったものと推測されます。

### 2 調査期間 令和7年8月9日(土)～8月17日(日)（9日間）

#### ■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

参 考

お盆期間中の伊香保温泉宿泊者数等の状況

令和7年8月9日(土)～17日(日)9日間

集計年度	日別宿泊者数 (人)										合計	
	8月9日 (土)	8月10日 (日)	8月11日 (月)	8月12日 (火)	8月13日 (水)	8月14日 (木)	8月15日 (金)	8月16日 (土)	8月17日 (日)	期間合計 R7(9日間)	比較期間合計 8/11～8/16	
令和7年度	4,285	4,668	4,468	4,552	4,490	4,563	4,082	3,632	3,543	38,283	25,787	
対前年比 (R6との比較)	-	4	△ 560 88.9%	△ 238 95.0%	△ 274 94.2%	△ 20 99.6%	△ 283 93.5%	△ 525 87.4%	-	5,932 118.3%	△ 1,900 93.1%	
増 減	-	-	△ 163 96.5%	△ 135 97.1%	12 100.3%	503 112.4%	589 116.9%	△ 5 99.9%	-	13,297 153.2%	801 103.2%	
割 合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
集計年度	8月9日 金	8月10日 (土)	8月11日 (日)	8月12日 (月)	8月13日 (火)	8月14日 (水)	8月15日 (木)	8月16日 (金)	8月17日 (土)	期間合計 R6(7日間)	比較期間合計 8/11～8/16	
令和6年度	-	4,664	5,028	4,790	4,764	4,583	4,365	4,157	-	32,351	27,687	
集計年度	8月9日 (水)	8月10日 (木)	8月11日 (金)	8月12日 (土)	8月13日 (日)	8月14日 (月)	8月15日 (火)	8月16日 (水)	8月17日 (木)	期間合計 R5(6日間)	比較期間合計 8/11～8/16	
令和5年度	-	-	4,631	4,687	4,478	4,060	3,493	3,637	-	24,986	24,986	

## 資料7

# お盆期間中の市有温泉施設の入館者状況等をお知らせします

令和7年度のお盆期間における市有温泉施設の入館者状況の調査結果をまとめたところ、合計利用者は対前年度で385人増加（104.1%）し、売上総額は対前年度で62万7,940円増加（対前年比110.5%）しました。

また、渋川市内道の駅の合計利用者は対前年度で1,792人増加（109.2%）し、売上総額は対前年度で293万7,978円増加（112.6%）しました。

### 1 概要

渋川市は、大型連休における各温泉施設の利用動向を把握するためにゴールデンウィークやお盆、年末年始の期間に市有の日帰り温泉施設等の利用状況を調査しています。今回、令和7年度のお盆期間における市有の日帰り温泉施設入館者状況と市内道の駅の利用者状況の調査結果をまとめました。

### 2 結果

調査期間における市有温泉施設の合計利用者は9,778人で、前年度と比較して385人増加（対前年比104.1%）しました。売上総額は662万7,810円で、前年度と比較して62万7,940円の増加（対前年比110.5%）となりました。

また、渋川市内の道の駅の合計利用者は2万1,259人で、前年度と比較して1,792人増加（対前年比109.2%）しました。売上総額は2,625万5,621円で、前年度と比較して293万7,978円の増加（対前年比112.6%）となりました。

いずれも増加となった要因として、今年度はお盆期間が9連休となる旅行者が多くみられ、猛暑日ではあったものの台風の発生などがなかったため県内外からの旅行者や帰省者が増加したものと考えられます。

### 3 調査期間 令和7年8月9日（土）～8月17日（日）（9日間）

### 4 対象施設

- ・日帰り温泉施設＝伊香保温泉浴場石段の湯、小野上温泉センター
- ・道の駅＝道の駅おのこ、道の駅こもち

#### ■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

〈市有温泉施設に関すること〉

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光施設係長 高山 卓（内線4887）

〈道の駅に関すること〉

担当：農政課（電話0279-22-2593）

課長 山田 豊（内線4971）

担い手支援係長 川田 美穂子（内線4975）

参考

お盆期間中の市有温泉施設等利用状況

令和7年8月9日(土)～8月17日(日)

【市有温泉施設】

1 入館者数

施設名		令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年増減	対前年比
日 帰り	伊香保温泉浴場石段の湯	2,246	1,914	2,040	332	117.3%
	小野上温泉センター	7,532	7,479	6,390	53	100.7%
合 計		9,778	9,393	8,430	385	104.1%

(単位:人)

2 売上額

施設名		令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年増減	対前年比
日 帰り	伊香保温泉浴場石段の湯	1,961,260	1,488,100	943,700	473,160	131.8%
	小野上温泉センター	4,666,550	4,511,770	3,671,840	154,780	103.4%
合 計		6,627,810	5,999,870	4,615,540	627,940	110.5%

(単位:円)

【道の駅】

1 利用者数

施設名		令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年増減	対前年比
道の駅おのこ		4,132	3,409	2,823	723	121.2%
道の駅こもち		17,127	16,058	15,138	1,069	106.7%
合 計		21,259	19,467	17,961	1,792	109.2%

(単位:人)

2 売上額

施設名		令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年増減	対前年比
道の駅おのこ		4,067,621	3,355,643	3,063,888	711,978	121.2%
道の駅こもち		22,188,000	19,962,000	18,160,000	2,226,000	111.2%
合 計		26,255,621	23,317,643	21,223,888	2,937,978	112.6%

(単位:円)

## お盆期間中の渋川スカイランドパーク遊園地の 入園者状況をお知らせします

令和7年度のお盆期間中における渋川スカイランドパーク遊園地の入園者状況の調査結果をまとめたところ、入園者数は対前年度比で1,136人減少（89.6%）しました。また、園内売上額は対前年度比で160万4,320円減少（88.6%）しました。

### 1 概 要

渋川市は、大型連休における渋川スカイランドパーク遊園地の利用動向を把握するためにゴールデンウィークやお盆、年末年始の期間の遊園地の入園者状況を調査しています。今回、令和7年度のお盆期間中における入園状況の調査結果をまとめました。

### 2 結 果

調査期間中の入園者数は計9,792人で、前年度と比較して1,136人減少（対前年度比89.6%）しました。また、園内売上額は合計1,250万9,530円で、前年度と比較して160万4,320円減少（対前年度比88.6%）しました。

8月上旬の記録的猛暑により全体的に利用者の動きが鈍かったことや、8月10日が天候不良により休園となったことが、減少した要因と思われます。

なお、入園者数及び売上額については、ワンデイパスや入園券の購入に当たり前売り券の購入者やキャッシュレス決済（PayPay）の利用者が増加しており、それらの入園者数及び売上げについては反映されていません。（キャッシュレス決済利用の入園者数及び売上げについては、月末締めで翌月に通知、振込されます）

### 3 調査期間 令和7年8月9日（土）～8月17日（日）（9日間）

#### ■問い合わせ先

建設交通部 部長 木村 博之（内線4700）

担当：都市政策課（電話0279-25-8307）

課長 松田 忠義（内線4790）

管理係長 谷 徳二（内線4785）

参考

お盆期間中の渋川スカイランドパーク遊園地入園者状況

令和7年8月9日(土)～8月17日(日)

1 入園者数

日	令和7年度			令和6年度			対前年度増減 (人)	対前年度比 (%)	備考 (令和7年度)
	曜日	天候	入園者数(人)	曜日	天候	入園者数(人)			
8月9日	土	晴	634	金	晴・曇・雨	560	74	113.2	パフォーマンスショー
8月10日	日	雨	0	土	晴	661	-661	0.0	雨天休園
8月11日	月	曇	630	日	晴	1,072	-442	58.8	
8月12日	火	雨	212	月・祝	晴	1,107	-895	19.2	
8月13日	水	晴	898	火	晴・雨	805	93	111.6	
8月14日	木	晴・曇	1,048	水	晴・曇	929	119	112.8	
8月15日	金	晴	896	木	晴・曇	1,281	-385	69.9	
8月16日	土	晴・曇	4,855	金	曇・雨	489	4,366	992.8	花火大会
8月17日	日	晴	619	土	晴	4,024	-3,405	15.4	
計			9,792			10,928	-1,136	89.6	

2 売上額

	令和7年度				令和6年度				対前年度増減 (円)	対前年度比 (%)	備考 (令和7年度)
	曜日	天候	利用料等 (円)	内食堂分 (円)	曜日	天候	利用料等 (円)	内食堂分 (円)			
8月9日	土	晴	1,099,990	(120,390)	金	晴・曇・雨	843,510	(153,800)	256,480	130.4	パフォーマンスショー
8月10日	日	雨	0	(0)	土	晴	1,051,910	(162,810)	-1,051,910	0.0	雨天休園
8月11日	月	曇	1,034,080	(82,280)	日	晴	1,668,530	(225,630)	-634,450	62.0	
8月12日	火	雨	364,960	(61,260)	月・祝	晴	1,888,050	(261,950)	-1,523,090	19.3	
8月13日	水	晴	1,553,250	(243,650)	火	晴・雨	1,211,410	(177,010)	341,840	128.2	
8月14日	木	晴・曇	2,054,150	(216,650)	水	晴・曇	1,489,200	(228,200)	564,950	137.9	
8月15日	金	晴	1,541,710	(185,810)	木	晴・曇	2,014,890	(323,390)	-473,180	76.5	
8月16日	土	晴・曇	3,826,960	(412,410)	金	曇・雨	797,400	(135,800)	3,029,560	479.9	花火大会
8月17日	日	晴	1,034,430	(130,030)	土	晴	3,148,950	(575,050)	-2,114,520	32.8	
計			12,509,530	(1,452,480)			14,113,850	(2,243,640)	-1,604,320	88.6	

## 資料9

### しぶかわ推し第1弾（料理・菓子）で 新たに4品が認定されました

渋川市は、「これぞ渋川」と市内外に自慢できるモノを「しぶかわ推し」として認定しており、現在、第1弾（料理・菓子）を募集しています。

この度、SNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、新たに4品が「しぶかわ推し」として認定されました。

今回の認定を含めて、25品が「しぶかわ推し」として認定されています。

#### 1 概要

渋川市は、市内にある地域資源や飲食物等の魅力を、シビックプライド及びシティブランドとして醸成し、市のプロモーションでの活用及び地域経済の活性化につなげるため、市内の魅力あるものを募集し、「しぶかわ推し」として認定しています。

現在、第1弾として（料理・菓子）を募集しており、令和7年8月18日現在で「しぶかわ推し」候補として42品の応募がありました。これまでに、そのうちの21品が「しぶかわ推し」として認定されています。この度、新たに4品がSNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、「しぶかわ推し」として認定されました。

今後、認証された「しぶかわ推し」を、市公式インスタグラムへ投稿したり、市公式YouTubeで配信したりするなど、「市民が薦める市の宝」としてPRし、市の魅力向上と地域経済の活性化につなげていきます。

#### 2 新たな「しぶかわ推し（8月8日認定）」

あまから団子 (だんごの美好渋川店・渋川)	アップルパイ (萩原りんご園・川島)
	
大盛ラーメン (伊勢屋本店・渋川)	酒饅頭 (中村まんじゅう店・行幸田)
	

### 3 「しぶかわ推し候補」と「しぶかわ推し」の違い

#### (1) しぶかわ推し候補

- ①市公式ホームページに「しぶかわ推し候補」として紹介
- ②市公式LINEのLINE VOOM投稿に掲載

#### (2) しぶかわ推し

- ①市公式ホームページの「しぶかわ推し」一覧紹介ページに掲載
- ②市公式LINEのLINE VOOM投稿のデータを「候補」から「しぶかわ推し」に変更
- ③市公式Instagramに投稿
- ④市公式YouTube「渋川市公式チャンネル」で動画を紹介
- ⑤しぶかわ推し認定証の授与
- ⑥しぶかわ推しロゴマーク（現在募集中）の使用

## 参考

### しぶかわ推し（第1弾（料理・菓子））の候補・認定数（令和7年8月18日現在）

応募42品（うち認定25品、候補17品）

#### 【これまでの認定品】

- ①ホルモン丼（(有)マルフクストアー）
- ②台湾まぜそば（earth cafe）
- ③伊香保プリン（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）
- ④ソースカツ丼弁当（ニコニコ亭）
- ⑤伊香保プレミアム（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）
- ⑥鮎セット（湯元茶屋）
- ⑦今川焼・うす皮極盛あんこ（かんたろう渋川）
- ⑧今川焼・お好み焼き風（かんたろう渋川）
- ⑨MowMow焼き（抹茶生地カスタード）（伊香保グリーン牧場）
- ⑩ワンプレート赤城牛ハンバーグ（Cafe&DiningBar Vingtie）
- ⑪ぷるりん（ぷるりんカフェ）
- ⑫赤城田舎まんじゅう（荒井商店）
- ⑬こんにやくから揚げ（グルメ亭）
- ⑭カボチャのクリームソースオムライス（Lita blanc）
- ⑮とんかつ定食Bランチ（渋川食堂）
- ⑯たつま定食（お食事処辰暦）
- ⑰ピーチメルバ（レストランるるど）
- ⑱プレミアムビーフシチュー（レストランるるど）
- ⑲イカ餃子（らーめんはんぐりー）
- ⑳グリーンカレー（レモングラス）
- ㉑鮎塩焼き（落合築）

※しぶかわ推しのホームページはこちらから▶



#### ■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）